



消費者情報



カラビナ

発行日 平成30年7月7日
 発行者 特定非営利活動法人
 新潟県消費者協会
 事務局 〒950-0994
 新潟市中央区上戸2丁目2番2号
 新潟ユニゾンプラザ1階
 TEL・FAX (025) 281-5558

E-mail n-shokyo@happytown.ocn.ne.jp URL http://www.nsyokyo.org/

●カラビナとは…… 登山に使われる金属製の輪です。カラビナが登山のロープをしっかりと繋ぎ、支えるように、この消費者情報が必要な情報を消費者に、消費者の声を事業者・行政に繋ぐ役目を果たすようにと名付けました。

祝 柏崎市消費者協会設立 50 周年記念式典 (昭和 43 年 6 月設立)

平成 30 年 6 月 2 日 (土)



柏崎民謡保存会による民謡と踊り披露
 (祝賀会 柏崎文化会館アルフォーレ)



佐藤清子会長のあいさつ (式典 柏崎エネルギーホール)

祝 長岡市消費者協会設立 50 周年記念式典 (昭和 43 年 7 月設立)

平成 30 年 5 月 26 日 (土) バストラル長岡



山本ヒサ会長のあいさつ (式典)



オペラ歌手シモン鈴木さんと伴奏金子陽子さんによる
 演奏会 (祝賀会)

目次

- 平成30 (2018) 年度新潟県消費者協会通常総会 報告…………… 2P
 通常総会記念講演会要旨
- 「消費生活ネットワーク新潟 設立 1 周年記念講演会」会長 長谷川かよ子…………… 3P
 平成30年度全国消費者協会連合会総会・研修会 新潟大会報告 他
- 地区だより「他団体の活動に協力して (1)」…………… 4P
- 私が見た中央アフリカ「ルワンダ共和国」の暮らし…………… 5P
- 自動車運転免許証の返納に関するアンケート調査報告…………… 6P
- 消費者トラブルキーワード「フリマアプリのトラブル」…………… 7P
 作ってませんか! 「収納小袋付 携帯買い物袋」
- 現場を見せて! 「亀田縞 (300年の歴史を誇る伝統織物) 亀田繊維工業協同組合」…………… 8P

平成30（2018）年度 新潟県消費者協会通常総会 報告

平成30年4月24日（火）新潟ユニゾンプラザにおいて通常総会を開催し、次の4つの議案について可決承認されました。（詳細は総会資料をご覧ください）

平成30年度新潟県消費者協会役員

会長	長谷川かよ子
副会長	菅井 清美 津野 敏江
常任理事	遠藤 春枝 山崎 和美
常任理事・事務局長	高杉 陽子
理事	五十嵐由利子 神藏 勝雄 吉田 正之 若槻 良宏 池山 純子 米山 幸子 高橋 昌子 山本 初子 山路 ムツ子
監事	村山 美恵子 齋藤 ひさ子

第1号議案：平成29年度事業実施報告・決算報告及び監査報告について

第2号議案：特定非営利活動法人新潟県消費者協会定款の一部改正について

第3号議案：理事の選任について《平成30年度役員：右表参照》

丸山正夫副会長の退任に伴い、その後任として津野敏江氏を選任

第4号議案：平成30年度事業計画（案）及び収支予算（案）について

退任のあいさつ

前副会長 丸山 正夫

定年のため副会長を退任することになりました。就任中は皆様方のご協力をいただき無事努めさせて頂きましたことを感謝申し上げます。



就任のあいさつ

副会長 津野 敏江

少子高齢化、情報化の進展等、生活環境は激変しています。

自立した消費者の在り方を共に考えていきましょう。よろしくお願いいたします。



平成30年度事業計画

1 新潟県消費者協会事業

- ・消費生活に関する講演会・講習会 ・自主調査や調査協力
- ・消費者情報「カラビナ」発行（年3回）
- ・ホームページ運営 ・地域啓発事業（中越、下越、佐渡）
- ・「消費生活ネットワーク新潟」への参画 ・電話相談
- ・行政や関係機関の審議会及び委員会等への参加

2 受託事業（委託者：新潟県）

- ・消費生活サポーター活動推進事業
- ・地域における見守りの担い手となる消費生活サポーター養成事業
- ・消費生活啓発講座コーディネート事業

受講者募集

柏崎市で開催！

消費生活サポーター養成講座

日程 全6回（8/23（木）30（木）
9/6（木）13（木）20（木）27（木））

時間 10:00～15:30（毎回）

会場 柏崎市産業文化会館

申込締切 7/31（火）

★問合せ・申込は新潟県消費者協会事務局まで

通常総会 記念講演会要旨

～リユース・リサイクルは地球環境に一番やさしいビジネス～

ハードオフ流こだわり経営とは

（株）ハードオフコーポレーション 代表取締役会長兼社長 山本善政 氏

家庭の不用品を買取り、必要な人に販売する「リユース事業」で発展してきたハードオフコーポレーション。始まりは、前身のオーディオ機器販売事業が窮地に立ち、「何が大事か、何が足りないか」と思考をリセットし、「モノがあふれる時代、家庭の不用品の受け皿になる」と中古ビジネスへの業態チェンジからでした。現在日本で売れ残った商品は、アジアで販売（2次リユース）し、そこでも売れない物は最後にリサイクルに回すという、グローバルな視点でCO2の排出を減らすリユース事業の重要性を説明されました。また、贈答品が余って困っている人がいるはずとの発想から、今まで誰も挑戦してこなかった酒の再販売の店「リカーオフ」を考案。食品衛生等の懸念

もありましたが、ソムリエの配置でクレームゼロと成功しています。障壁が大きければ大きいほど、乗り越えた先にはチャンスがあると説かれました。

また、あり余る時間・知識・経験を持つシニアが働く店舗を作り、その活躍ぶりを「仕事が最大の暇つぶし」とユーモアたっぷりに紹介されました。

発想の豊かさと「社会とお客様が困っていることを解決する」という企業理念が、結果的に企業の社会的責任（CSR）を果たしていると思いました。当協会の3R活動にも通じるところがあり、大変有意義な講演となりました。

（事務局長 高杉陽子）



「消費生活ネットワーク新潟」 設立 1 周年記念講演会

水無月に入り、県知事選挙前日の 6 月 9 日(土)に新潟テルサを会場として、「消費生活ネットワーク新潟」の設立 1 周年記念講演会と第 1 回通常総会が開催されました。

思い起こせば、平成 23 年 11 月 4 日「消費生活ネットワーク新潟」が消費生活の安全、安心を確保できる体制を構築するため、消費者問題にかかわる 6 団体が集い、「消費生活ネットワーク新潟」が設立されました。あれから 7 年が経過し、適格消費者団体を目指す「消費生活ネットワーク新潟」は昨年 29 年 4 月



に特定非営利活動法人として認定されました。その間、新潟県内における消費者被害の未然防止や被害拡

特定非営利活動法人「消費生活ネットワーク新潟」理事長
特定非営利活動法人 新潟県消費者協会会長

長谷川 かよ子

大防止のための活動、消費者からの情報提供に基づく事業者への申し入れ活動、シンポジウムやフォーラム、各地での学習会を開催する一方、県外の先達の適格消費者団体を訪れ、多くの研修を積んで参りました。

今回は設立 1 周年記念の講演会として、全国の適格及び特定適格消費者団体第 1 号として設立された「消費者機構日本」の佐々木幸孝副理事長をお迎えして、「差止請求」の実践と題し、メガバンク、建設業界、フィットネスクラブ業界等への申し入れに取り組んでこられた活動の歩みを具体的にお話いただきました。消費者問題の解決に向けて、新潟での取り組みに大きな教示と示唆をいただきました。

その後、第 1 回通常総会を実施し、一日も早い適格消費者団体の設立を目指すために、これからの力強い前進を誓い合いました。

全県の消費者の皆さんの情報提供など、応援をよろしくお願いいたします。

平成 30 年度 全国消費者協会連合会総会・研修会 新潟大会報告

今年度は 12 年ぶりに新潟県での開催となり、全消協の会員 7 団体が参加しました。

初日の総会では事業報告等の後、各団体で情報交換を行いました。また、全国消費者協会連合会功労者表彰として、新潟県から会員 2 人が表彰されました。

二日目の研修会では、「農業特区」制度を利用して誕生した、全国第 1 号の農家レストラン「ラ・ビステッカ」を訪問しまし



た。藤田穀社長より「今年から自社で飼育した牛肉をレストランで提供できるようになり、今後は GAP の取得を目指したい」など、意欲的なお話をうかがいました。

日 程 等

- 6/7(木) 監査、理事会、総会(万代市民会館)
懇親会(万代シルバーホテル)
- 6/8(金) 研修会(弥彦神社、宝山酒造、
農業特区農家レストラン「ラ・ビステッカ」)

参加団体

日本消費者協会、北海道消費者協会、横浜市消費者協会、富山県消費者協会、徳島県消費者協会、熊本消費者協会、新潟県消費者協会

祝

平成 30 年度
全国消費者協会連合会功労者表彰

南魚沼市消費者協会 新潟市消費者協会巻支部
柴田 春並 さん 矢島 静江 さん

祝

平成 30 年度ベスト消費者サポーター章受章!

十日町市消費者協会顧問 桑原光江さん

桑原さんは、米粉の利用や防災食などの身近な題材で市民向け消費者講座の実施、ベルの会代表として市内の消費生活サポーターをまとめ、出前講座を長年続けてこられた功績が評価されました。

おめでとうございます。

※ベスト消費者サポーター章：消費者庁が消費者利益の擁護及び増進を図るために消費者支援活動に顕著な功績のあった人、団体を表彰する制度



「イオン幸せの黄色いレシートキャンペーン」 ギフトカード贈呈

今年度も、イオンリテール(株)北関東・新潟カンパニー様より、4 月 24 日の団体代表者会議にて、ギフトカード 25 万 4,700 円分を贈呈していただきました。ギフトカードは、正会員の 17 団体の活動のために役立てられ、感謝しています。

くらしフェスタ中越 in ながおか

ふるって
ご参加ください!

日時 平成 30 年 7 月 29 日(日)10:00~14:00

会場 アオーレ長岡ナカドマ(長岡市大手通り 1-4-10)

地区だより

- 今回は、各協会が地域の他団体の活動にどのように協力しているか
- を紹介します。連携することで活動の幅が広がります。これからは、
- 連携した活動が重要になり、参考になるものと思います。全 17 団体
- を 3 回に分けて紹介します。（編集委員 山本 ヒサ）

他団体の活動に協力して（１）

◆「つむぎ通り軽トラ市」出店

南魚沼市消費者協会

塩沢商工会主催、月初めの日曜日に開催される軽トラ市に出店しました。地元の農産物、手作り品、加工品等販売します。消費者と生産者との地域のコミュニケーションの場だけでなく観光客の方も参加する楽しい市です。



◆子育てフェアの手伝い

新潟市消費者協会新潟支部

平成 26 年度から「トキっ子子育て応援フェア」（新潟市産業振興センター）で「はじめてのおつかいコーナー」の手伝いをしています。大勢の参加者で、子育て世代のパワーを感じながら、忙しい合間にチラシを配布し、協会の活動を若い人達にアピールしました。



◆十日町クリーン作戦 2018

十日町市消費者協会

「ゴミを拾って、十日町市内をきれいにしましょう!!」と会員が毎年参加しています。信濃川沿岸に流れ着いたゴミの多さに、人間の傲慢さを垣間見る思いです。ゴミは持ち帰るのが基本です。市立南中学校の生徒の活躍に敬意です。



◆「多加良まつり」出店

新潟市消費者協会巻支部

普段、閑散としている、まちの商店街ですが、毎年、商工会主催の「多加良まつり」が盛大に開催されます。当協会も不用品、環境にやさしい EM 石けんを売り、活動の資金源となっています。各種団体との連携、町民との出会いがあり、活性化の一角を担っています。



◆見附市市民活動・ボランティア連絡協議会

10 周年記念行事に参加 見附市消費者協会

見附市では、市内で活動しているあらゆるジャンルの約 100 団体が、ボランティア連絡協議会に参加しています。昨年 10 周年を迎え、記念行事が 1 週間行われ、それぞれの団体が発表等を行いました。当協会は、消費者力アップ講座を実施、フリマに参加、パネルで活動を紹介しました。



◆村上市環境フェスタと公民館まつりにブース参加

村上市消費者協会

環境フェスタでは、3R と省エネ生活パネル展示・バザーを実施。会場参加者は 1,200 人と盛況でした。公民館まつりでは、クイズパネル「3R って何？」を展示。ふろしき体験コーナーでリュックポーチ、インテリア品作りを紹介。「COOL CHOICE」（クールチョイス）※ 登録活動も実施しました。



※LED 電球、エコ家電、公共交通機関の選択など、温暖化対策に資する「賢い選択」を促す国民運動のこと。

私が見た 中央アフリカ「ルワンダ共和国」の暮らし

新潟市消費者協会巻支部 藤田純子

アフリカ大陸の中部に位置するルワンダは「千の丘の国」ともいわれ、人々はなだらかな丘の斜面に畑を耕し、家畜を飼い自給自足的な生活をしています。アフリカ大陸の中部に位置するルワンダは、四国の 1.4 倍という国土に 920 万人が住んでいます。

2009 年から、福島市にある「NPO 法人ルワンダの教育を考える会」との出会いをきっかけに、私は首都キガリの小学校へ給食室建設の支援をしています。今年 2 月に 3 度目の訪問をした際に見聞した、環境政策の進め方やルワンダの暮らしを紹介します。



雜貨屋には何でもある



スーパーの紙袋



生ごみを入れて収集車で運ぶ容器

ビニール袋は没収！～もっともごみの少ない国～

ルワンダでは、スーパー、商店でもレジ袋はポリ袋ではなく紙袋を渡し、市場でもマイバッグを持参し、国をあげてごみ削減に取り組んでいます。入国の際、税関では手にビニール袋を持っているかどうか職員が目をつけています。手に持っていれば即没収です。

毎月の第 4 日曜日は、国民総出の「清掃デー」で、参加しないと罰則があるという厳しいもの。旅行者は道路にごみが無く清められていることに驚きます。

首都キガリには週 1 回ごみ収集車が回りますが、分別はありません。農村に行くと野菜くずなどは鶏や家畜に食べさせます。また、カンや空き瓶などは大切に再利用し、カンは工夫して子供のおもちゃになります。

豆類、イモ類が主食の食事

ルワンダの主な産業は農業です。豆類、ジャガイモ、さつまいも等のイモ類、バナナ、米、それに野菜、果物が豊富に採れます。

主婦は、それらを毎食うまく組み合わせて食事を作ります。ドネードという、日本のハウレン草のようなものの炒め物も好物です。どの料理も、味付けは玉ねぎとトマトを炒めたものと塩ですが、とてもおいしいです。



ルワンダの家庭料理



給食のメニューは豊富



食後の団欒を楽しむ家族

ルワンダの家庭は子沢山

滞在で一番の楽しみは家庭訪問。真っ先に出てくるのが子供達で、それが皆笑顔で元気。

驚くのは子供の数。5～6 人は当たり前。「こんなにたくさんどうやって育てるの?」「隣り、近所、親戚、誰かが世話するから大丈夫!」アフリカの国々は「相互扶助」の社会。この答えは子育てに悩む日本のお母さん達に聞かせたいと思いました。

ルワンダの今 初めて足を踏み入れた 2006 年を振り返ると、ルワンダの発展ぶりには驚かされます。首都は高層ビルが建ち並び、人々は携帯電話を使い「バイクタクシー」で移動します。しかし、ここまで来るには、24 年前の 80 万人が犠牲になった大量虐殺の反省があります。今は、それを教訓として和解教育に取り組み、コーヒー産業の復興、IT 産業の人材育成等に力を入れています。

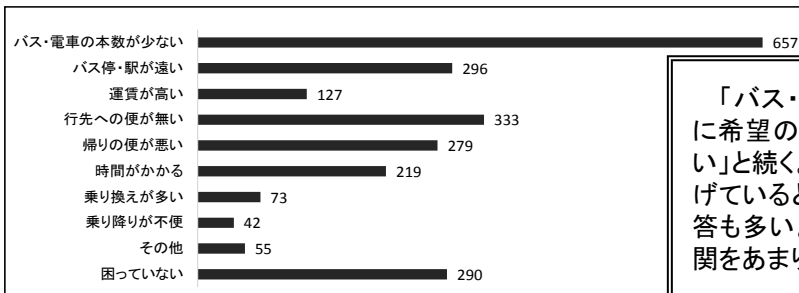
自動車運転免許証の返納に関するアンケート調査報告

高齢者による交通事故の急増が社会問題となり、自動車運転免許証の返納を考える高齢者や家族が増えていきます。しかし、返納後は交通手段が無くなり、不便な生活が予想されます。新潟県消費者協会では、車が無くても高齢者が安心して暮らせるための環境整備について検討、考察するために、各消費者協会、支部にご協力いただき、平成 29 年 9 月～11 月にアンケート調査を実施しました。(回収数 1,345 人、有効回答数 1,321 人)

◆交通手段について

自家用車(自分で運転)が圧倒的に多く、80 代でも 64.7%が自分で運転。
バス、電車の利用は年代が上がると増え、80 代以上はタクシーの利用も増える。

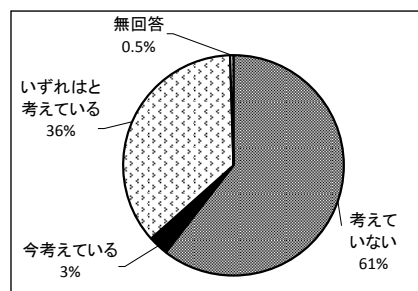
●公共交通で困っていること (人)



「バス・電車の本数が少ない」が一番多く、次に希望の「行先への便が無い」「バス停・駅が遠い」と続く。公共交通の利便性の悪さが利用を妨げていると思われる。一方「困っていない」との回答も多い。自家用車の利用が多く、公共交通機関をあまり利用しないためと思われる。

◆自動車運転免許証の自主返納について

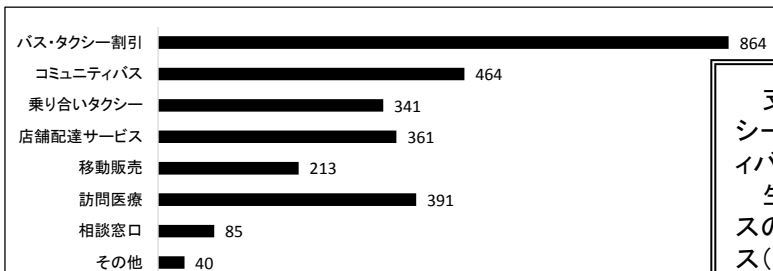
「考えていない」が 61%で、考えていない人が多いことがわかった。自主返納について「いずれは」と考え始めるのは 60 代から。80 代は「今考えている」人が急増、実際に自主返納する世代と考えられる。返納を考えていない理由は「生活が不便になる」が最も多く、「まだ自分には関係ない」という人も多かった。「運転に自信がある」「返納する気はない」の割合は高齢者ほど高くなるという結果が出た。返納を考えている理由は「身体能力低下を自覚」「高齢者の暴走運転の報道を見て」が際立って多かった。



◆運転免許証自主返納後に役立つ支援や制度について

70%を超える人が支援や制度を知らないことがわかった。

●これがあれば運転免許証返納後、心配がないと思う支援は何ですか (人)



支援制度で最も望まれるのは、「バス・タクシーの割引制度」である。次いで「コミュニティバス」が望まれている。
生活や医療に係わる「店舗の配達サービスの充実」や「移動販売」、「訪問医療サービス(往診)の充実」なども多く望まれている。

◆意見・要望など

返納後「交通事故を起こす心配が無くなって良かった」という声の反面、「生活が不便になった」という意見も多く、「返納を勧める前に安心して暮らせる環境整備を」という意見もあった。年齢による強制的返納制度や免許更新時の検査強化を望む声もあったが、「個人差があり年齢で線引きするより自主判断で」「返納は心寂しく考えられない」など切実な声も多く聞かれた。また行政等からの継続的な支援や地域で支え合う仕組み作りの要望もあった。

◆新潟県消費者協会としての取組・提言

- ①各地域の実情に合った支援制度確立のため、**市町村、警察、事業者、消費者が話し合う機会**の提案。
- ②バス、タクシー等の事業者団体へ**消費者の意見を伝える**。
- ③消費者も、車の排気ガスによるCO₂排出の環境問題や**地域のために公共交通機関を利用して支える**という視点を持つことも必要と思われる。

消費者トラブルキーワード フリマアプリのトラブル

フリマアプリでの取引トラブル急増

以前よりインターネットで個人同士が物品売買などを行うことのできるフリーマーケット（フリマ）サービスがあります。自分は今もう使わないけど使えるものが売れ、欲しいものが安く手に入ることから、最近はスマホで手軽に始められる「フリマアプリ」の人气が急上昇し、若い人だけでなくシニアの利用も伸びているということです。

しかし、以下のように出品者と購入者の間のトラブルに関する相談も多いようです。

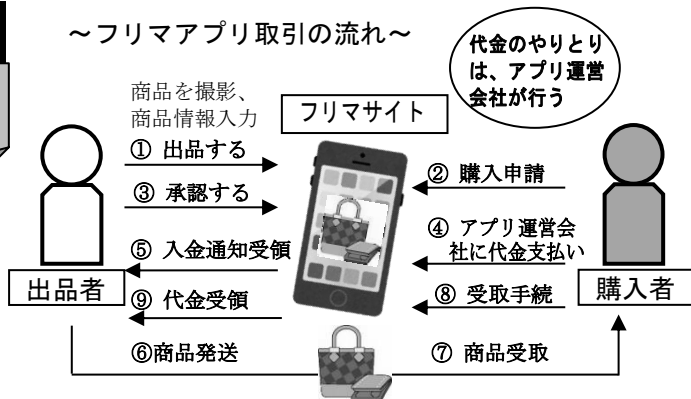
例1 届いた商品が偽物だったのに、返品に応じてもらえない

例2 ブランドバッグを送ったが、偽造品だと言われ、代金が支払われない

消費生活センターは、個人間取引のトラブルは原則対象外となっています。しかし、相手と連絡が取れなくなるなど、個人だけでは解決できない場合は、解決の手がかりとなる情報を得るために消費生活センターに相談しましょう。



～フリマアプリ取引の流れ～



トラブルを防ぐために気を付けること

個人間取引は自己責任、リスクを伴う取引

フリマサービスでは規約に「利用者間のトラブルに介入しない」と定めています。何かあったら「自己責任」というリスクを伴う取引だという認識をもち利用しましょう。

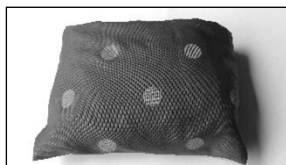
信頼できる相手か見極め、取引は慎重に

取引相手のプロフィールや取引実績などを確認し、商品に疑問があれば相手に質問し情報を集め、慣れるまで少額にとどめるなど、慎重に取引をしましょう。また、ルール違反を持ちかけられたら、きっぱり断りましょう。

作ってみませんか！

収納小袋付 携帯買い物袋

不用になった傘を活用しませんか？
～傘布は軽くて水に強く、たためばコンパクト～
＜作り方＞

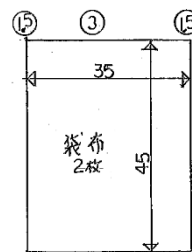


小さくたたみ、小袋に入ると持ち運びに便利

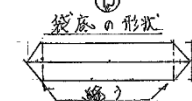


違う柄を縫い合わせている

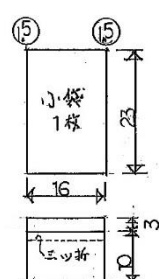
- ①傘をばらして傘布を洗い、アイロンをかける。
- ②三角形の傘布2枚を縫って四角形の布にする。
- ③傘布または布を図の寸法に2枚カットし、布を合わせ両脇と底を縫う。（図A）
- ④ひもを2本用意する。ひも用テープ、または布からカットして作る。（図B）
- ⑤小袋用の布をカットして半分に折り下側を輪にして、上側は三つ折りにして縫い（下側は縫わない）布の両脇を縫う。（図C）
- ⑥袋の上側を三つ折りにして、付け位置にひもと小袋をはさみ、上側から5mmと25mmの位置を縫う。（図D）（編集委員 中村文子）



図A

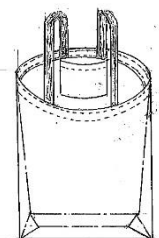


図B



図C

★数字はcmで裁寸法
★○の表示は縫代



図D

編集後記

山も田畑も雨上がりのみどりが美しい季節です。豪雪にへこたれそうになりながら、山野の息吹の様に動き始めた自分がいました。果樹や野菜を育てながら、そして収穫できた喜びを感じる事は出来る。しかし、書き上げた文章や画像を眺めながら首をひねる。まだまだと自問する。水をやり、肥やしをやり、頭を耕さねばならないようだ。

（編集委員 小林 諒）

《現場を見せて！》

かめだじま

亀田縞（300年の歴史を誇る伝統織物）

亀田繊維工業協同組合

【連絡先】新潟市江南区曙町 3-6-1

TEL:025-381-4105 FAX:025-382-7136

伝統織物が復活し、新たな素材として様々な商品に活かされていると最近話題になっている「亀田縞」。その魅力を知るために、亀田繊維工業協同組合でお話を伺いました。



亀田縞復活に尽力された立川博史事務局長(右)
(左)藤田編集委員の着ているジャケットは亀田縞です

生い立ち！（木綿織の大産地 亀田）

日本最北の綿産地「亀田」。今から約 300 年前の江戸時代、元禄 9 年頃が、木綿織（後の亀田縞）の生産の初めと言われています。

水深く、水稻に適さない亀田の地で、生活を支えるために農民の織る亀田縞が定着していきます。丈夫で野良着の材料として最適な亀田縞の販売は全国に広がり、亀田は、明治後期から大正時代にかけて工場制手工業や家内工業など 600 を超える業者で構成される大産地となり、亀田町の近代化を支える地場産業となりました。



江南区郷土資料館に所蔵されている貴重な縮見本帳。これを基に亀田縞が復活しました



機織り作業

衰退から地域ブランドへ

昭和に入り野良着の材料としての需要が激減し、戦中になると原料綿糸の入手が困難になり、亀田縞はいったん幕を閉じました。

しかし、「織の技術を持つ機屋が無くなってからでは遅い」「新潟市との合併で失われる亀田の名前を残したい」と、平成 14 年に亀田縞を復活させる取り組みが始まります。昔の技術に忠実に、そして更に以前にはなかった天日干しの加工を施すなど、執念と言える研究と試験を積み重ねて製品が復活しました。柔らかくて肌触りが良い、家庭での洗濯も可能な新しい商品として、今注目を浴びています。



美しく仕上がった布地



亀田縞を新しい感覚で使ったエプロンと洋服



受け継ぐ伝統、未来に織りこむ 愛される地元の伝統織物

生まれ育った町に誇れるものが有ると良い。良いものなら着たい、着て貰いたい。そんな気持ちになりますね！亀田縞には幼いころの懐かしさ温もりが有ります。「多くの協力者と力を携え、未来へ繋げていきたい」と立川さん。伝統の力強さと新しい息吹を感じる取材となりました。また、今回の取材で、たまたま着ていたジャケットを見て、立川さんから「これは亀田縞ですね」と教えていただき、亀田縞をいっそう身近に感じる事ができました。

（編集委員 小林 諒 藤田純子）